

令和4年10月21日

舞鶴市議会議長 山本 治兵衛 様

総務消防委員会  
委員長 上 羽 和 幸

第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画の点検評価結果について

第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画の点検評価を実施しましたので、別紙により、その結果を報告します。

総務消防委員会における点検評価の結果  
(委員会としての意見)

## 1 鉄道、路線バス及び自主運行バスの運行の支援

### [第1編 第2章 第1節 第2項 1-①]

交通事業者に対する路線維持のための支援や、コロナ禍の影響を踏まえた運行継続のための支援が実施されており、公共交通の維持・確保を図る取組が計画どおり進められている。

運行を継続していく上では、運転手等の人員の確保が課題となっていることから、その支援にさらに積極的に取り組む必要がある。

## 2 公共交通の利便性向上と交通アクセスの充実

### [第1編 第2章 第1節 第2項 1-②]

交通系 I Cカードの利用促進に取り組み、実際に利用者数が増加しているなど、利便性の向上が図られている。

引き続き、利用促進や交通系 I Cカードが利用できる交通事業者・店舗の拡大に向けて取り組み、利用者が増加することと相まって、交通アクセスの充実が図られることを期待する。

## 3 市民、交通事業者及び行政の連携による公共交通の利用促進

### [第1編 第2章 第1節 第2項 1-③]

コロナ禍の影響により、数値目標と実績値に差はあるものの、交通事業者等との連携による利用促進の取組が計画どおり進められている。

高校での出前授業なども実施されているが、公共交通に対する理解の促進や機運の醸成を図るため、舞鶴市地域公共交通計画にも掲げられている「市民等と公共交通について考える場」をさらに積極的に創出されたい。

## 4 持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークのあり方の検討

### [第1編 第2章 第1節 第2項 1-④]

舞鶴市共生型 MaaS「meemo」については、前年度の実証実験結果からアプリの改良が行われ、マッチング率も高く、実証実験地域においては、新たな交通システムとして一定機能しているものと評価できる。

今後、持続可能な仕組みとして確立・定着させ、他の地域においても、地域住民等の理解が促進されることを期待する。

## 5 時代に応じた最新技術の活用

### [第2編 第2節 第3項 1-①]

AI-OCRやRPAを活用した業務改善に先進的に取り組み、令和3年度においても、新規に適用した業務において、高い削減率となっているなど、成果が認められる。

これらの定着や適用業務の拡大を図り、コンピュータと人との適切な役割分担によって、より質の高いサービスが提供できるよう進められたい。

## 6 行政手続きの利便性向上と業務の効率化

### [第2編 第2節 第3項 1-②]

マイナンバーカードの普及が図られ、証明書等のコンビニ交付の実績からも、利便性の向上が図られているものと評価できる。また、法整備等に沿った行政手続きのオンライン化も計画どおり進められている。

電子申請システムについても拡充を図り、さらなる市民サービスの向上と業務の効率化を進められたい。

## 第7次舞鶴市総合計画・前期実行計画の点検評価項目

## 【総務消防委員会】

編・章・節	点 検 評 価 項 目
1 編 2 章 1 節  (P57)	第2項 住み続けたいまちを支える生活基盤づくり 1 使いやすい公共交通ネットワークの確保及び利用促進 ① 鉄道、路線バス及び自主運行バスの運行の支援 ② 公共交通の利便性向上と交通アクセスの充実 ③ 市民、交通事業者及び行政の連携による公共交通の利用促進 ④ 持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークのあり方の検討
2 編 2 節  (P107)	第3項 ICT（情報通信技術）の活用 1 行政効率化と市民サービスの向上 ① 時代に応じた最新技術の活用 ② 行政手続きの利便性向上と業務の効率化